

土木工事標準歩掛の訂正

工 種 名	誤	正	適 用																																																																						
場所打杭工 (全回転式オールケーシング工)	6. ビット等損耗費 杭1本当りビット等損耗費は、ケーシングチューブに取付けるビットの費用であり、労務費、運転経費、機械損料及び機械賃料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する（杭頭処理の労務費、機械賃料及び運転経費は含まない）。なお、ビット等損耗費については、杭1本当りで算出する。 <table><caption>表6. 1 ビット等損耗費率(P) (1 m当り損耗費率)</caption><tr><th> 土質 設計杭径 </th><th>レキ質土 粘性土 砂及び砂質土</th><th>岩塊・玉石</th><th>軟岩Ⅰ</th><th>軟岩Ⅱ</th><th>中硬岩</th><th>硬岩Ⅰ</th></tr><tr><td>1,000mm</td><td>0.3%</td><td>31%</td><td>13%</td><td>10%</td><td>35%</td><td>65%</td></tr><tr><td>1,100mm 1,200mm</td><td>0.4%</td><td>37%</td><td>15%</td><td>12%</td><td>41%</td><td>75%</td></tr><tr><td>1,500mm</td><td>0.5%</td><td>53%</td><td>22%</td><td>18%</td><td>59%</td><td>110%</td></tr><tr><td>2,000mm</td><td>0.7%</td><td>67%</td><td>28%</td><td>22%</td><td>74%</td><td>138%</td></tr></table> (注) 1. ビット等損耗費率は、掘削する土質毎に損耗費率を加重平均して算出する。 損耗費率P= $\frac{P_1 \times \ell_1 + P_2 \times \ell_2 \cdots}{\ell_1 + \ell_2 \cdots}$ここで、P_n：各土質のビット損耗費率 ℓ_n：各土質の掘削長（m） 2. Pは小数点以下1桁とし、小数第2位を四捨五入する。 (例) 設計杭径1,000mm, 砂質土5m, レキ質土15m, 岩塊・玉石3m, 軟岩Ⅱ3mの場合 P = $\frac{0.3\% \times 5m + 0.3\% \times 15m + 31\% \times 3m + 10\% \times 3m}{5m + 15m + 3m + 3m}$ = 4.96 …… ≒ 5.0%	土質 設計杭径	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ	中硬岩	硬岩Ⅰ	1,000mm	0.3%	31%	13%	10%	35%	65%	1,100mm 1,200mm	0.4%	37%	15%	12%	41%	75%	1,500mm	0.5%	53%	22%	18%	59%	110%	2,000mm	0.7%	67%	28%	22%	74%	138%	6. ビット等損耗費 杭1本当りビット等損耗費は、ケーシングチューブに取付けるビットの費用であり、労務費、運転経費、機械損料及び機械賃料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する（杭頭処理の労務費、機械賃料及び運転経費は含まない）。なお、ビット等損耗費については、杭1本当りで算出する。 <table><caption>表6. 1 ビット等損耗費率(P) (%)</caption><tr><th> 土質 設計杭径 </th><th>レキ質土 粘性土 砂及び砂質土</th><th>岩塊・玉石</th><th>軟岩Ⅰ</th><th>軟岩Ⅱ</th><th>中硬岩</th><th>硬岩Ⅰ</th></tr><tr><td>1,000mm</td><td>0.3</td><td>31</td><td>13</td><td>10</td><td>35</td><td>65</td></tr><tr><td>1,100mm 1,200mm</td><td>0.4</td><td>37</td><td>15</td><td>12</td><td>41</td><td>75</td></tr><tr><td>1,500mm</td><td>0.5</td><td>53</td><td>22</td><td>18</td><td>59</td><td>110</td></tr><tr><td>2,000mm</td><td>0.7</td><td>67</td><td>28</td><td>22</td><td>74</td><td>138</td></tr></table> (注) 1. ビット等損耗費率は、掘削する土質毎に損耗費率を加重平均して算出する。 損耗費率P= $\frac{P_1 \times \ell_1 + P_2 \times \ell_2 \cdots}{\ell_1 + \ell_2 \cdots}$ここで、P_n：各土質のビット損耗費率 ℓ_n：各土質の掘削長（m） 2. Pは小数点以下1桁とし、小数第2位を四捨五入する。 (例) 設計杭径1,000mm, 砂質土5m, レキ質土15m, 岩塊・玉石3m, 軟岩Ⅱ3mの場合 P = $\frac{0.3\% \times 5m + 0.3\% \times 15m + 31\% \times 3m + 10\% \times 3m}{5m + 15m + 3m + 3m}$ = 4.96 …… ≒ 5.0%	土質 設計杭径	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ	中硬岩	硬岩Ⅰ	1,000mm	0.3	31	13	10	35	65	1,100mm 1,200mm	0.4	37	15	12	41	75	1,500mm	0.5	53	22	18	59	110	2,000mm	0.7	67	28	22	74	138	表6.1ビット等損耗費率の単位修正
	土質 設計杭径	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ	中硬岩	硬岩Ⅰ																																																																		
1,000mm	0.3%	31%	13%	10%	35%	65%																																																																			
1,100mm 1,200mm	0.4%	37%	15%	12%	41%	75%																																																																			
1,500mm	0.5%	53%	22%	18%	59%	110%																																																																			
2,000mm	0.7%	67%	28%	22%	74%	138%																																																																			
土質 設計杭径	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ	中硬岩	硬岩Ⅰ																																																																			
1,000mm	0.3	31	13	10	35	65																																																																			
1,100mm 1,200mm	0.4	37	15	12	41	75																																																																			
1,500mm	0.5	53	22	18	59	110																																																																			
2,000mm	0.7	67	28	22	74	138																																																																			